

第9回千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会 議事要旨

1. 開催日時：令和元年9月10日（火） 14：00～16：00
2. 場 所：千曲川河川事務所2階 大会議室
3. 出席者：平林座長、島野委員、笠原委員、北野委員、瀬崎委員、吉川委員（小松代理）、渡辺委員（小林代理）、小林委員（萩原代理）、小根澤委員（小岩代理）、宮下委員（助川代理）、吉池委員、松田委員、依田委員（田村代理）、木村委員
※欠席：豊田委員、傳田委員、藤澤委員

4.議事概要（凡例：「◇」事務局からの連絡、「＊」質疑、「→」回答、「☆」意見

1)資料1 これまでの検討結果の概要について

- *p7 冠水頻度・無次元掃流力のグラフについて、縦軸の割合は何を示しているのか。
→H25に実施した植生図調査範囲のうち、千曲川中流域（82.0～109.5k間）における各区分の割合を示しており、各区分の合計値（100%）が千曲川中流域の総面積となる。
- *水域は開放水面、砂礫河原は自然裸地を示すと理解して良いか。また、その他には何が含まれるのか。
→水域、砂礫河原については、そのとおりである。また、その他には、グラウンドなどの人工裸地や畑地などが含まれている。
- *p18 H29.10 出水後の植生図において、施工範囲の上流側にハリエンジュ高木林が確認できるが、一部拡大していると判断して良いか。
→施工範囲の上流側一部では、ハリエンジュが侵入している。

2)資料2 モニタリング調査について

- *p14 H30 初夏季調査のH26-28 上流部で確認種数が3種と減少しているが、原因は何か。
→工事の影響がない対照地点であり、工事による影響はないと考えているが、明確な原因は不明である。
- *p17 粒径の把握方法に「砂礫の最大長とその直交径の算術平均」とあるが、砂礫の長径、中径、短径のいずれを示しているのか。

→河床の表層を目視で確認した際の最大長とその直交径を示しており、基本的には長径と中径になると考えている。

*p17 粒径分布の把握にあたって、参考としている文献等はあるか。

→木津川での既往調査を参考にしている。

*自然再生事業の対象としている河川幅の中では、外来種（ハリエンジュ、アレチウリ）が抑制されることを目標として事業を行っていると理解して良いか。

→H25 出水時の状況を踏まえ対象となる河川幅を設定しており、その中では外来種の繁茂を抑制することを目標としている。

☆H26 施工箇所の上流側の一部でハリエンジュが侵入しているとのことだが、モニタリング調査を実施する際に、その要因や出水後の状況（痕跡水位等）、植生図には反映されない植生の変化等を把握しておいた方が良い。

☆p7 H26 施工箇所の上流側のハリエンジュについては、1/1 水位での掘削では撤去しきれない根が残存してしまい、再繁茂したと想定される。モニタリング調査の際に、どのような状況で再繁茂しているのかななどを記録し、後で考察できるように知見の蓄積ができると良い。

*p12 施工前にタコノアシが確認されているが、保全対策は行っているのか。

→H28 施工箇所におけるタコノアシの保全対策について、詳細は確認するが、H29 施工箇所ではレッドリスト掲載種（サイカチ）の保全を行っている。

☆植物の保全対策として、移植が難しいのであれば、種を採取し、周辺への藩種も考えられる。

☆p26 埋戻し時の濁度調査結果は貴重である。資料では、3 箇所の濁度調査結果を重ねて表示しているが、埋戻しの影響がない上流側が基準となるので、上流と直下、下流の差分の変化を確認すると良い。

*p17 表層粒径調査の結果は分布図としてまとめるのか。また、調査を鳥類に合わせるのであれば春の早い時期や初春に調査をすることが望ましいが、調査時期や規模を教えてください。

→調査結果は、木津川と同様の分布図を作成する予定である。調査時期については p16 に示すとおり、出水後の規模ごとに実施することを考えている。出水の発生ない場合は、

秋季に実施する予定である。今年度は試行的に秋季のみ実施する予定であり、千曲市冠着地区で調査を行い、今後はその結果を踏まえ他地区への展開を検討したい。

3)資料 3 坂城町南条地区の掘削計画について

*モニタリング調査として、事前に深掘れ箇所の魚類調査や濁水調査を実施する予定はあるか。

→事前の魚類調査は実施する予定であるが、濁水調査の実施は考えていない。濁水調査は、現在実施している上田市古舟橋地区の状況を確認し、ご相談したい。

*p9 施工横断面図において、1/1 水位が直線に示されていないのは、何故か。

→二次元メッシュで評価しているため、モデル計算ではメッシュごとの水位が反映されている。

*平面二次元で計算しており、横断方向に流れる箇所もあるため、このように形状で示されている。尚、この計算結果は埋戻し後の形状にて計算を行っているのか。

→埋戻した土砂が河床に維持されるか不明なため、埋戻し前の状況で計算している。

4)資料 4 今後の予定

・特になし